

国際ロータリー第2790地区  
2025-26年度

# 地区チームラーニングセミナー

## DTLS

District Team Learning Seminar

よいことのために手を取りあおう UNITE FOR GOOD



Rotary  
District 2790



# よいことのために手を取りあおう

## UNITE FOR GOOD

(2025-26年度 RI 会長メッセージ)

### Object of Rotary

#### ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

### The Four-Way Test

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

### Rotarian Code of Conduct

#### ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に務め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

#### 国際ロータリーの青少年と 接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアン、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは心理的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くさなければならない。

2019年10月、RI 理事会により承認

# 地区チームラーニングセミナー

令和7年3月8日(土)

場所：ホテルザ・マンハッタン プリマベラ

13:00 登録開始

【第1部】本会議 司会進行 次期地区幹事長 大倉 崇

13:30 点鐘 ガバナーエレクト 時田 清次

国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」

13:35 ガバナーアドレス ガバナー 寒郡 茂樹

13:40 地区役員・AG紹介 ガバナーエレクト 時田 清次

13:55 地区チームラーニングセミナー開催にあたり

次期ラーニングファシリテーター 諸岡 靖彦

14:15 次年度RI会長の方針及び地区運営方針 ガバナーエレクト 時田 清次

15:15 点鐘 ガバナーエレクト 時田 清次

【第2部】委員会別会議

15:30 ガバナー補佐・委員会別会議

【第3部】懇親会

17:00～18:30 司会進行 次期地区副幹事長 三好 和彦

開会の言葉 次期地区副幹事長 宮寺 仁

乾杯 次期ラーニングファシリテーター 諸岡 靖彦

中締め 次期地区副幹事長 根本 泉



## 2025-26 年度会長メッセージのスピーチ

2025 - 26 年度 国際ロータリー会長

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ

Santo André ロータリークラブ (ブラジル、サンパウロ)

敬愛なるガバナーと  
ロータリーリーダーである

皆さま、おはようございます。

昨年はここに、2024-25 年度ガバナーにお集まりいただきました。その際、私は国際ロータリーの会長ノミニーとして、会員増強を私たちの組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。

そして今日、会長エレクトとして皆さんの前に立っている今、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、これまで以上に確信しています。

ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。会員は、地球上で最も有能なボランティアのチームです。私は、アトランタ国際大会で、ポリオ根絶のパートナー団体を代表する人物が、ロータリー会員の並外れた献身を称賛したのを聞いて、このことを学びました。外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました。

本日は、会員増強と活性化に向けたロードマップについてお話ししたいと思います。このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。これらの原則は単なる戦略ではありません。ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。トマーシ・ディ・ランペドゥーサが『山猫』で書いたように、「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない」のです。

革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、

目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

68 歳の私は、仲間たちのコミュニティを見つけることがどれほど充実したものであるかを、身をもって知っています。

私の所属クラブであるサント・アンドレ・ロータリークラブは、150 人の会員を擁する活気と伝統のあるクラブです。妻のデニースは、衛星クラブの結成に助力し、50 人近い素晴らしい女性たちが自分らしくリーダーシップを発揮できる場を創り出しました。

衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、スポーツクラブなどは、多様な人びとを惹きつけるために必要な柔軟性の例です。これらのモデルがどこでも通用するわけではありませんが、従来の枠組みにとらわれずに未来のロータリアンに働きかける機会をもたらします。将来のロータリー会員は必ずどこかにいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります。

この 18 カ月間で地球を 6 周以上した旅の中で、最も健全な地区には、一貫し、団結したリーダーシップという重要な特徴があることに気づきました。ガバナーが前任者の努力を基盤とし、プログラムや戦略が毎年途切れることなく継続されるようにすることで、地区は発展します。一方、トップにおける不和は、時限爆弾のようなものであり、これが会員数の減少という結果を引き起こすことがよくあります。

この旅から得た感動的な瞬間をいくつかご紹介しましょう。ナイジェリアの第 9141 地区では、サービスの行き届いていない地域に井戸を建設したり、学校に椅子を寄贈したりすることの素晴らしいインパクトを目の当たりにしました。パキスタンでは、2022 年の壊滅的な洪水の被災者が、ただ生き延びるだけの生活からより良い未来へと移行できるよう、ロータリーが支援しているスマートビレッジを訪れました。

インドのムンバイでは、ロータリーの補助金で先

天性心臓病の治療を受けている子どもたちに会いました。また、別の地域では、緩和ケア病院の外に、がん検診、歯科治療、眼科検診を支援するロータリー財団のロゴが入った救急車が並んでいるのを目にしました。

インドネシアのランブンで、デニスと私は、700世帯の経済が小規模ながら変化し、米を生産する農家の収入が増えるのを目にする機会に恵まれました。

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることができますが、力を合わせれば、世界を変えることができます。ゲイツ財団、WHO、UNICEFといった団体とのパートナーシップは、230億ドルを投じて40年以上取り組んできたポリオ根絶活動において極めて重要な役割を果たしました。ロータリーが単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかったでしょう。

それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付けることができます。このようなパートナーシップは、「量か質か」という誤った二者択一を排除します。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます。

最終的には、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。

まず、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。

第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増

え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。

第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤というものはありません。

私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。

これが、2025-26年度の会長メッセージです。

## 「よいことのために手を取りあおう」

分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

本日この会場を後にする際には、地区でロータリーを成長させるための最善の戦略を学ぶことに焦点を当ててください。ロータリーは、この協議会に多大な時間と資金を投じてきましたが、それはスピーチや派手な演出のためではなく、皆さんが効果的にリーダーシップを発揮するための手段を身につけていただくためです。この投資から得られる見返りは、金銭で測られるものではなく、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことによって測られるでしょう。

そして、この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。

成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。

ご清聴ありがとうございました。



## 2025-26 年度 国際ロータリー会長

### マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ Mário César Martins de Camargo

Santo André ロータリークラブ（ブラジル、サンパウロ）

印刷業界のビジネス・コンサルタントであり、父親が設立した印刷会社 Gráfica Bandeirantes の元取締役。彼のリーダーシップのもと、同社はブラジルや南米のクライアントに印刷物を提供するサプライヤーに成長。

軍学校に通い、ロータリー青少年交換プログラムで米国ミネソタ州セントポールの高校を卒業。ドイツのオッフェンバッハにある印刷機メーカー、MAN Roland で1年間のインターンシップを経験した後、Fundación Getulio Vargas' São Paulo School of Business Administration より学士号を取得。また、サン・ベルナルド・ド・カンボ法科大学より法学士号を取得。

ブラジルのグラフィック技術協会やブラジル印刷産業協会（ABIGRAF）の会長など、数多くの専門家団体を率いた経験を有する。また、全国産業連盟のサンパウロ州産業連盟（FIESP）代表理事、FIESP 副会長、ラテンアメリカ印刷産業連盟副会長も歴任。フロリダ印刷協会から「Printing Leader of the Americas」賞、NPES（印刷・出版・加工技術サプライヤー協会）から「Global Presidential Print Award」を受賞。

1980年、23歳でロータリーに入会。理事と管理委員を歴任し、ブラジルで4番目のRI会長として就任。RIラーニングファシリテーター、Avoidable Blindness（回避可能な失明）タスクフォースのゾーンコーディネーター、健康問題のタスクフォース中南米コーディネーター、RI会長代理、規定審議会代表議員など数多くの役割を歴任。また、RI会員増強委員会、ロータリー財団プログラム財務委員会、国際ポリオプラス委員会にも貢献。

ロータリーの世界的な活動に感銘を受けており、「超我の奉仕によって、ロータリーは、私が知る限り、他に類を見ない独自の世界的アイデンティティを築き上げた。私たちは皆、世界を広げてくれる団体に所属していることを忘れてはならない」と話す。

2020年のコロナ禍の初期に、二つの目標に着手（一つはロースクール卒業38年後の司法試験合格のための勉強、もう一つはイタリア語の勉強）。歴史や伝記の本を読むことと、おいしいワインを味わうことも趣味とする。ロータリー財団特別功労賞受賞者。

ロータリー財団特別功労賞を受賞。デニス夫人と共に、メジャードナー、ロータリー財団ベネファクター。



## DTLS 開催に寄せて / ロータリーの温故知新

国際ロータリー 第 2790 地区

2025 - 26 年度

地区ラーニングファシリテーター (DLF) 諸岡 靖彦

(成田 RC)

今から 120 年を遡る 1905 年 2 月 23 日の寒い夜、米国シカゴの街で始まった 4 人の、ささやかな会合がロータリーの誕生でした。当時は資本主義経済の勃興期で人口が急増した大都市の秩序はそれに追いつけず、街は乱れて利己心を煽るような悪徳がはびこっていました。田舎育ちの青年弁護士ポール・ハリスの計らいによる、ファースト・ネームで語りあえる健全な職業人のクラブ会合が今日に連綿と続くロータリーの出発点でした。始めは会員間の相互扶助と親睦が目的でしたが、身近な社会に目を向ける奉仕感覚を取り入れることで、クラブの活動が普遍性を得るようになり成りました。奉仕の哲学が順次磨かれることにより、RC は全米に波及、やがて旧大陸ヨーロッパにも同志が広がりました。国際ロータリーとしての本部組織を立ち上げ、RI と全世界共通のクラブ定款と細則を標準化して、組織基盤を確立したのは 1922 年でした。

これに先んじて、1917 年にはアーチ・クランフが「世界でよいことをしよう」と呼び掛けて基金をつくり、初の寄付 26 ドル 50 センツが寄せられました。これが後にロータリー財団として大きく花開きます。社会奉仕の活動のスタイルとしては、奉仕の哲学を論じて地域及び国際社会に倫理性を謳う理念派と、実践行動を何よりも大切にする実践派が激論を交わし、寛容の精神の基に相和して、深く考え、果敢に活動できるロータリーの奉仕の基本理念が確立します (1923 年の決議 34 号)。1945 年第 2 次世界大戦後、多くのロータリアンが国連憲章の起草に参加、これに同調してロータリー財団の目指す方向が決まり、今日の奉仕活動 7 つの重点分野に繋がります。

以上はロータリーの歴史が積み上げてきたロータリーの基本精神です。

今年が昭和 100 年であり、また戦後 80 年に当たります。東京 RC が生まれたのは大正 9 年 (1920 年)。実は東京クラブがロータリーに目覚めたのは、大正 12 年関東大震災で被災して、RI 及び各国 RC からの 8 万 9 千ドルもの多額の見舞金に驚いたからでした。以後東京 RC は市内の社会奉仕に乗り出し、大阪 RC (1922 設立) と共に拡大に動くこととなります。ただし太平洋戦争の戦線拡大で 1940 年 RI から脱退。戦後 RI に復活するのは 1949 年のこととなります。千葉 RC は 1951 年の設立で、国内創立は 60 番目です。

RI 復帰後一時は主流を形成していた日本ロータリーはこれからどう復活してゆくのでしょうか。

2005 年に 100 周年を迎えた RI は激動の時代を乗り越えるために、次々と改革に乗り出しました。ポリオ撲滅 (→根絶) を RI の最優先課題とし、中核的価値観をロータリアンの基本的特質として採択し、青少年奉仕を新たに加えて五大奉仕部門としました。R の公共イメージを向上させ、ロータリーブランドを磨いて、財団への寄付を強く促しています。地区組織を強化する DLP を義務化し、クラブには CLP を推奨し自主的な会員基盤づくりを進め、長期計画を推奨しました。会員増強のために 1 業種 1 人の入会制約を解き、例会を柔軟化、女性や若者の入会を強調し、RAC を RI の正式会員に迎えました。コロナ・パンデミック局面では移動を要しないオンラインの会合を現実のものとする時代適応が進みました。時代の流動化には <DEI> を推奨し、組織の UP-DATE を求めています。2019 年の「ロータリーのビジョン声明」から発した行動計画が直近では <3year rolling targets> として、クラブや地区に地域ボランティアや他団体との交流、連携を推奨しています。事業規模の拡大と、また各地に分散する奉仕のエリア化の流れに対しては SRF (ロータリーの未来形成) を試行するなど、次の RI 新体制に進むことも考えられます。

ロータリーが 120 年に亘って育んできたこうした奉仕の文化と圧倒的な成果を引き継いで行くためには、底流で積み上げてきた事績を知ることによってロータリーの様々な故事を、時に応じて思い出すことが必要です。そして、同時に、今まさに現実の世界の激流を乗り切つてゆくために期待すべきは、1 人 1 人のロータリアンご自身の、ロータリー活動への思索と実践の中から生み出す英知と情熱の発揮ではないでしょうか。



# 国際ロータリー第 2790 地区 地区運営方針

国際ロータリー 第 2790 地区  
2024 - 25 年度 ガバナーエレクト 時田 清次  
(市原中央 RC)

## 1) 会長エレクトメッセージの目標

2025-26 年度の会長メッセージは「よいことのために手を取りあおう」です。

この会長メッセージは、コミュニケーション委員会と戦略計画委員会と会長エレクトが提案し、理事会が承認した、2025-26 年度からの複数年にわたる行動計画を軸とした会長メッセージになります。

### 1- 1) 行動計画の策定

ロータリー手続要覧 P6 ロータリーの戦略計画「ロータリーのビジョン声明」とは、

**私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。**

行動計画はビジョンを達成する為のものです。

この、行動計画を成功に導くために、会長メッセージは「よいことのために手を取りあおう」を表明しました。これは、分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。

ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちに鼓舞します。



行動計画には 4 つの重点事項があります。

1. より大きなインパクトをもたらす。
2. 参加者の基盤を広げる。
3. 参加者の積極的なかかわりを促す。
4. 適応力を高める。

また、その優先事項を達成する為の年次目標があります。それを理解し 3 year Rolling Goals を作成する必要があります。

## 変化のリーダーとなる

各クラブ会長は変化のリーダーになるべく MYROTARY から行動計画を作成し実行することが始まりです。



- 立案する
- 構築する
- 実施する
- 維持する
- 評価する

を繰り返すことにより目標を達成することができクラブの活性化につながりリーダーの資質を高めることができます。

## 1-2) 会員増強と活性化

革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現しましょう。

## 2) 地区スローガン (Grow Rotary : 自分もクラブも成長しよう)

ロータリーの目的は (RI 定款第3条、標準 RC 定款第5条)、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことです。奉仕の理念とは、ロータリアン一人一人が職業を通し、また日常生活において、高い倫理観を持って、「人に思いやりを持ち、人の役に立つことを実践すること」です。ロータリアンの目的はクラブへの参加により達成することが出来ます。一番大事なことはロータリアンの成長です。そうすることがクラブの活性化に結び付き自分もクラブも成長し活性化します。これが地区スローガン「自分もクラブも成長しよう Grow Rotary」です。

## 3) 委員会へのお願い

地区の委員会はリーダーを育てることが大きな目的です。地区で学んだことをクラブに持ち帰りクラブを啓発し意欲を持たせることが役割です。

委員会の目標を達成するには行動計画が必要です。まず、委員会メンバーと協力して、年度の目標を設定し、それを達成するための計画を立てます。

### 3-1) 年度の目標を設定する

委員会の目標は、より大きな枠組みの目標とロータリーの行動計画を支えるものにします。また、目標は具体的、測定可能、達成可能で、メンバーが意欲的に取り組むことができ、期日が明確に定めます。

### 3-2) 行動計画の作成

行動計画は、それぞれの目標を達成するために踏むことができるステップです。

### 3-3) メンバーの意欲を高める

成功している委員会では、目標が設定されており、達成へのコミットメントを有するメンバーで構成されているものです。

### 3-4) 生産性の高いミーティングを計画

オープンなディスカッションを促進する環境を整えておけば、委員会のメンバーはより積極的に参加し、貢献しようという気持ちになります。

### 3-5) 委員会の次のリーダーを育成

委員会の次のリーダーを育成し、メンバーがほかの機会でのリーダーとしての役割を果たせるように促すことができます。

## 4) 地区チームの結末

国際協議会において今年から Cohort「同期の仲間」Team が結成されました。このプログラムの目的は、この国際性を最大限に活用し、世界各地から集まるほかの参加者と長期的な関係を築き、将来のパートナーシップの可能性を育む機会を提供することです。25-26年度地区チームも25-26年度を通して「長期的な関係を築き、将来のパートナーシップを育む機会」としたいと思います。そのために、ガバナー補佐の皆様にはチームミーティングを行っていただきます。また、委員会の横のつながりとして統括委員長会議、八犬伝プロジェクトの実行委員と各種セミナーを通して多くのコミュニケーションの場を提供していきたいと思っています。そして、年度の終わりには、新たな人生の友人が多くなっていることを願っています。

# 2025-26年度 国際ロータリー第2790地区 組織図 (案)

地区管理運営部門	
地区指名委員会	
◎ PG 小倉 純夫 (松戸)	
PG 漆原 摂子 (勝浦)	
PG 梶原 等 (千葉)	
PG 鶴沢 和広 (千葉若潮)	
PG 寒郡 茂樹 (富里)	
地区立法案検討委員会	
◎ PG 宇佐見 透 (千葉幕張)	
○ PG 青木 貞雄 (成田コスモポリタン)	
PG 寺嶋 哲生 (柏)	
PG 橋岡 久太郎 (佐倉中央)	
PG 諸岡 靖彦 (成田)	
PG 漆原 摂子 (勝浦)	
PG 梶原 等 (千葉)	
PG 小倉 純夫 (松戸)	
PG 鶴沢 和広 (千葉若潮)	
PG 寒郡 茂樹 (富里)	
G 時田 清次 (市原中央)	
GE 森島 弘道 (新千葉)	
GN 尾崎 裕一 (松戸中央)	
地区表彰委員会	
◎ PG 寒郡 茂樹 (富里)	
PG 鶴沢 和広 (千葉若潮)	
地区会計長	
米本 務 (千葉)	
地区財務委員会	
◎ PG 鶴沢 和広 (千葉若潮)	
PG 寒郡 茂樹 (富里)	
GE 森島 弘道 (新千葉)	
地区大会関係委員会	
資格審査委員会 ◎ PG 寒郡 茂樹 (富里)	
選挙管理委員会 ◎ PG 鶴沢 和広 (千葉若潮)	
決議委員会 ◎ PG 小倉 純夫 (松戸)	
地区史編纂委員会	
◎ PG 寒郡 茂樹 (富里)	
原 幸司 (富里)	

地区諮問委員会	
PG 佐川 一元 (船橋南)	
PG 土屋 亮太郎 (松戸)	
PG 石井 亮太郎 (松戸東)	
PG 森島 庸吉 (船橋西)	
PG 杉木 禧夫 (茂原)	
PG 白鳥 政孝 (市原)	
PG 崎山 征雄 (習志野中央)	
PG 中村 博豆 (柏西)	
PG 山田 修平 (木更津東)	
PG 得居 仁 (松戸東)	
PG 関口 徳雄 (浦安)	
PG 宇佐見 透 (千葉幕張)	
PG 青木 貞雄 (成田コスモポリタン)	
PG 寺嶋 哲生 (柏)	
PG 橋岡 久太郎 (佐倉中央)	
PG 諸岡 靖彦 (成田)	
PG 漆原 摂子 (勝浦)	
PG 梶原 等 (千葉)	
PG 小倉 純夫 (松戸)	
PG 鶴沢 和広 (千葉若潮)	
PG 寒郡 茂樹 (富里)	

R I 理事	
水野 功 (東京飛火野)	

R I 会長	
マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ (サントアンドレ) ブラジル	

R I 理事会	
---------	--

ガバナー	
G 時田 清次 (市原中央)	

副ガバナー	
PG 寒郡 茂樹 (富里)	

ガバナーエレクト	
GE 森島 弘道 (新千葉)	

ガバナーノミニー	
GN 尾崎 裕一 (松戸中央)	

ロータリー公共イメージコーディネーター	
第1地域 PG 寺嶋 哲生 (柏)	

ロータリー財団地域コーディネーター補佐	
第1地域 PG 漆原 摂子 (勝浦)	

行動計画推進委員会	
◎ PG 橋岡 久太郎 (佐倉中央)	
PG 小倉 純夫 (松戸)	
GE 森島 弘道 (新千葉)	
亀田 美穂 (鴨川)	
佐野 正子 (浦安)	
浅野 正博 (成田)	
嶋野 壱平 (流山)	

地区危機管理・災害対策委員会	
◎ 藤崎 泰裕 (千葉西)	
吉田 朋令 (柏西)	
原 幸司 (富里)	
平野 伸一 (成田コスモポリタン)	
大木 正人 (千葉市副市長)	

- PG ... バストガバナー
- G ... ガバナー
- GE ... ガバナーエレクト
- GN ... ガバナーノミニー
- GD ... ガバナーノミニー・デジグネート
- ★ ... 議長
- ... 統括委員長
- ◎ ... 委員長
- ... 統括副委員長/副委員長

地区ラーニングファシリテーター	
理念委員会 (D E I 含む)	
◎ 平塚 新兵衛 (佐原)	
○ 清田 浩義 (千葉)	
水嶋 陽子 (館山)	
平野 崇広 (松戸北)	
江上 俊彦 (千葉東)	
ラーニング委員会	
◎ 池田 勝之 (千葉)	
○ 日暮 幸信 (松戸)	
井上 喜久男 (市川シビック)	
前原 彩 (千葉北)	
R I 委員会	
◎ 大野 雅章 (千葉)	
○ 東 孝俊 (千葉)	
武藤 友和 (松戸東)	
茂木 清治 (野田セントラル)	
青木 清明 (千葉北)	
甲田 直弘 (成田)	
實毅 隆浩 (市川南)	
坂下 雅紀 (千葉東)	
矢代 秀明 (浦安ベイ)	

管理運営統括委員会	
● 松永 達人 (富里)	
○ 佐々木 宣雄 (千葉若潮)	
○ 霞木 みち代 (松戸中央)	
会員増強・基盤向上委員会	
◎ 佐々木 高治 (千葉)	
○ 堀井 幸子 (船橋南)	
福原 義一 (市原)	
出口 稔暢 (館山)	
吉村 類 (新千葉)	
渡部 勲 (千葉緑)	
大塚 孝典 (浦安ベイ)	
中村 裕三 (市川シビック)	
菊地 裕文 (成田コスモポリタン)	
広報・公共イメージ向上委員会	
◎ 永野 知英 (千葉幕張)	
○ 崎元 一平 (富里)	
児玉 秀一 (館山)	
中野 龍介 (新千葉)	
鈴木 久夫 (富里)	
フェロウシップ・親睦活動委員会	
◎ 安田 勝紀 (柏西)	
○ 村上 亮 (富里)	
諸岡 勇人 (成田)	
上杉 浩介 (千葉東)	
上田 かおり (柏西)	
倉島 圭子 (鴨川)	

奉仕プロジェクト統括委員会	
● 向後 勝弘 (千葉)	
○ 鈴木 勝也 (八日市場)	
職業奉仕委員会	
◎ 船木 幹夫 (千葉港)	
○ 植草 和典 (千葉幕張)	
白鳥 真 (新千葉)	
井上 尊王 (流山)	
社会奉仕委員会 (環境 含む)	
◎ 廻 辰一郎 (千葉南)	
○ 酒井 秀大 (千葉南)	
安田 学 (君津)	
時崎 広恵 (成田)	
山下 清俊 (市川東)	
峯崎 崇聡 (松戸東)	
米内 将剛 (佐倉)	
国際奉仕委員会	
◎ 高田 新也 (柏)	
○ 村山 洋一 (新千葉)	
佐々木 るみ子 (柏東)	
萬燈 知永子 (千葉幕張)	
岡田 真吾 (野田)	
宮崎 慎 (君津)	
吉村 真佐子 (茂原)	

青少年プロジェクト統括委員会 (ロータリー希望の風 含む)	
● 田村 隆治 (八千代)	
○ 若林 康弘 (館山)	
インターアクト委員会	
◎ 笹川 英一 (八街)	
○ 市橋 拓道 (茂原)	
磯貝 元洋 (市原)	
稲葉 弘尚 (新千葉)	
北村 謙介 (市原中央)	
青少年交換委員会	
◎ 三上 直哉 (勝浦)	
○ 夏海 剛 (佐倉)	
稲山 雅治 (八千代)	
久土地 剛 (八千代)	
菅原 裕輔 (東金)	
マイケル鈴木勝博 (千葉港)	
岡村 美智子 (佐倉)	
RYLA委員会	
◎ 浅野 賢一 (千葉若潮)	
○ 稲葉 健 (印西)	
関 征啓 (松戸北)	
小久保 和子 (八街)	
石田 亨 (木更津東)	
浅野 学 (新千葉)	
高田 洋志 (鎌ヶ谷)	
齊藤 清光 (鎌ヶ谷)	

TRF 管理委員会

地区ラーニングファシリテーター  
PG 諸岡 靖彦 (成田)

地区戦略計画委員会  
◎ G 時田 清次 (市原中央)  
★ PG 鶴沢 和広 (千葉若潮)  
PG 寒郡 茂樹 (富里)  
GE 森島 弘道 (新千葉)  
GN 尾崎 裕一 (松戸中央)

規定審議会代表議員  
正 PG 宇佐見 透 (千葉幕張)  
補 PG 青木 貞雄 (成田コスモポリタン)  
全国 R Y L A 連絡会  
顧問 PG 橋岡 久太郎 (佐倉中央)  
ロータリー平和センター  
広報アンバサダー 山崎 敬生 (市川)  
一般財団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構 (RIJYEM)  
社員 PG 宇佐見 透 (千葉幕張)  
研修部門委員 津留 起夫 (市原)  
(RIJYEM保険管理者)  
一般財団法人ロータリーの友事務所  
監事 宮嶋 康明 (新千葉)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会  
理事 PG 宇佐見 透 (千葉幕張)  
評議員 PG 青木 貞雄 (成田コスモポリタン)  
公益財団法人ロータリー米山記念館  
理事 PG 漆原 摂子 (勝浦)  
評議員 PG 得居 仁 (松戸東)  
ロータリー・リーダーシップ研究会 日本支部  
地区代表委員 PG 梶原 等 (千葉)  
ロータリー文庫運営委員会  
地区代表委員長 PG 小倉 純夫 (松戸)  
相談役 PG 中村 博亘 (柏西)  
顧問 PG 青木 貞雄 (成田コスモポリタン)  
ロータリーの友委員会  
25-26代表委員 西村 芳雄 (市原)  
24-25代表委員 海寶 勘一 (千葉西)  
26-27代表委員 宮嶋 康明 (新千葉)

地区監査委員会

地区資金監査委員会  
◎ 村田 秀喜 (千葉若潮)  
ローソンかおり (成田)  
向後 保雄 (千葉南)  
木頭 孝男 (千葉中央)

財団資金監査委員会  
◎ 山田 修平 (木更津東)

地区幹事長  
大倉 崇 (市原中央)

ガバナー補佐  
第1グループ 瀧澤 勝利 (市川東)  
第2グループ 岩山 修久 (船橋)  
第3グループ 始平堂 玄昌 (千葉幕張)  
第4グループ 武田 勲 (市原中央)  
第5グループ 渡邊 慎司 (木更津東)  
第6グループ 渡辺 淳一 (鴨川)  
第7グループ 小沢 恒夫 (茂原中央)  
第8グループ 北川 幸靖 (旭)  
第9グループ 前田 泰弘 (小見川)  
第10グループ 神崎 誠 (成田)  
第11グループ 釜本 元章 (柏西)  
第12グループ 杉山 智基 (八千代)  
第13グループ 石井 弘 (松戸西)  
第14グループ 岡安 誠人 (野田)

月信委員会  
◎ 田島 修 (市原中央)  
○ 大野 剛生 (市原中央)  
鈴木 寛尚 (富里)  
宮嶋 康明 (新千葉)

地区幹事団  
地区副幹事長 宮寺 仁 (市原中央)  
地区副幹事長 根本 泉 (市原中央)  
地区副幹事長 三好 和彦 (市原中央)  
地区副幹事長 富田 元 (市原中央)  
地区幹事 宇津木 三雄 (市原中央)  
地区幹事 (会計担当) 増田 晃一 (市原中央)  
地区幹事 大野 剛生 (市原中央)  
地区幹事 長田 光史 (市原中央)  
地区幹事 柿崎 正実 (市原中央)  
地区幹事 杉本 峰康 (千葉南)  
地区幹事 篠田 美幸 (市原)  
地区幹事 藤本 俊男 (千葉港)  
地区幹事 神長 洋士 (千葉北)  
地区幹事 中島 東一 (千葉緑)  
地区幹事 (26-27地区幹事長) 星 聡 (新千葉)

国際大会推進委員会  
◎ 長田 光史 (市原中央)  
○ 高橋 啓子 (市原中央)  
清水 一成 (鋸南)

ロータリー財団統括委員会  
● PG 梶原 等 (千葉)  
○ 堀内 正人 (木更津東)  
宮川 光生 (千葉)  
GN 尾崎 裕一 (松戸中央)

米山記念奨学会  
◎ 内村 愛 (勝浦)  
○ 中野 陽介 (船橋みなど)  
○ 石引 美貴 (市川南)  
高橋 英雄 (千葉港)  
須藤 憲一 (千葉中央)  
平山 秀樹 (成田)  
加藤 隆 (千葉東)  
森 秀樹 (柏南)  
山本 美代子 (習志野中央)

ロータリーアクト委員会  
◎ 秋谷 陽一郎 (千葉コネクトRSC)  
○ 中島 広貴 (習志野中央RAC)  
中澤 良夫 (四街道)  
須永 清彦 (銚子)  
内藤 万琴 (千葉マリナーRAC)

財団資金管理・寄付推進委員会  
(恒久基金・大口寄付兼務)  
◎ 原田 宗広 (千葉若潮)  
荒井 光江 (市川東)  
井奥 俊博 (松戸中央)  
小藪 和美 (富里)

ロータリーポリオプラス委員会  
(ロータリーカード兼務)  
◎ 小椋 伸也 (松戸北)  
桑野 博之 (成田)  
河内 悟 (松戸中央)  
畠山 泰哲 (白井)

地区大会実行委員会  
大会会長 及川 喜和 (市原中央)  
実行委員長 宇津木 三雄 (市原中央)  
ホストクラブ 市原中央ロータリークラブ  
コ・ホストクラブ 千葉南ロータリークラブ  
コ・ホストクラブ 市原ロータリークラブ  
コ・ホストクラブ 千葉港ロータリークラブ  
コ・ホストクラブ 千葉北ロータリークラブ  
コ・ホストクラブ 千葉緑ロータリークラブ

補助金プロジェクト委員会  
◎ 木頭 孝男 (千葉中央)  
富山 保昭 (千葉幕張)  
栗原 洋一 (千葉北)  
横堀 喜一郎 (茂原中央)  
角谷 太一 (市原)

ロータリー平和フェロシッップ委員会  
◎ 岩佐 祥一 (流山中央)  
○ 渡辺 淳一 (鴨川)  
野口 雅子 (東金)  
熊澤 紳行 (市川)  
福井 順子 (市川)

地区大会記念ゴルフ大会委員会  
大会会長 石井 昭 (市原中央)  
実行委員長 三好 和彦 (市原中央)

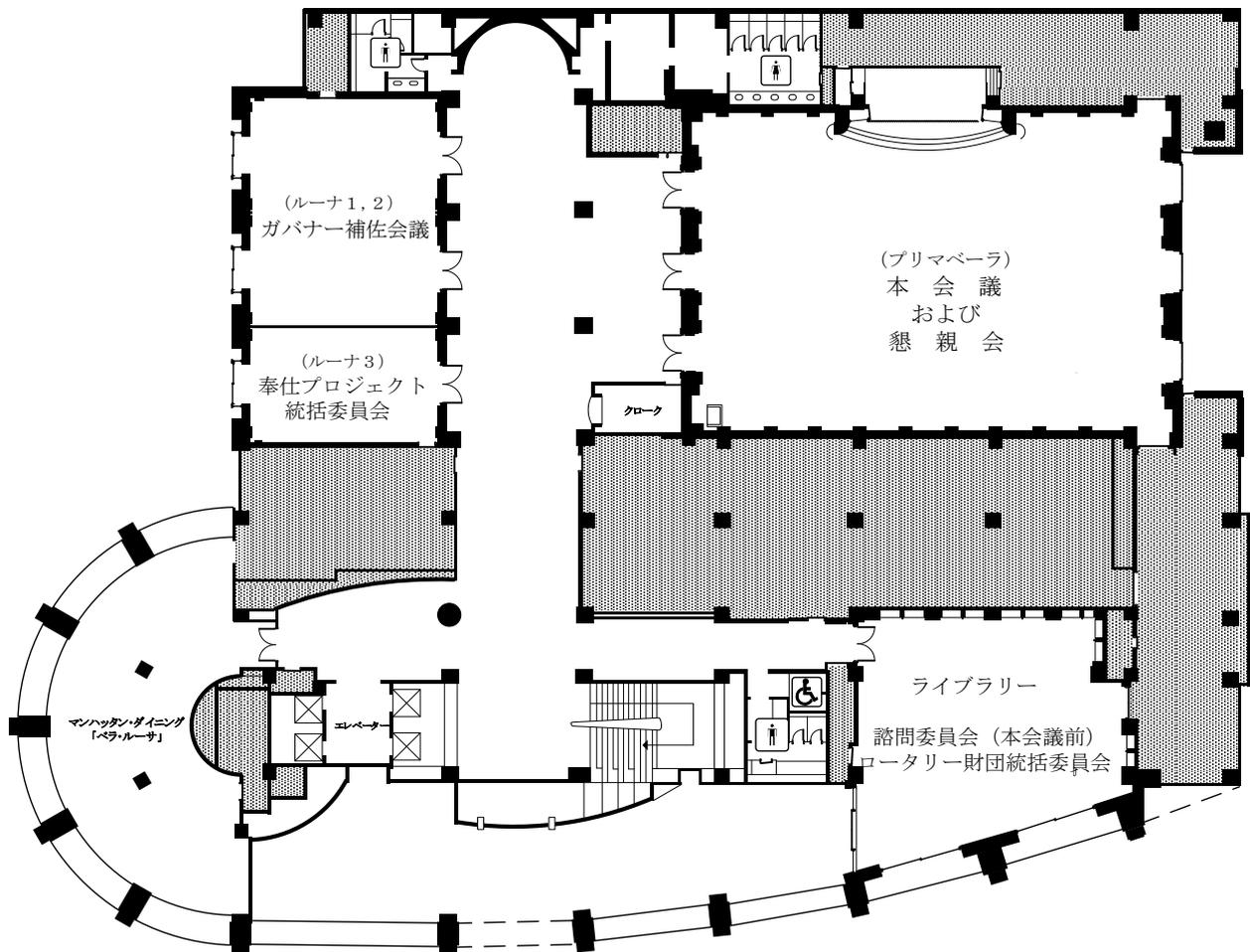
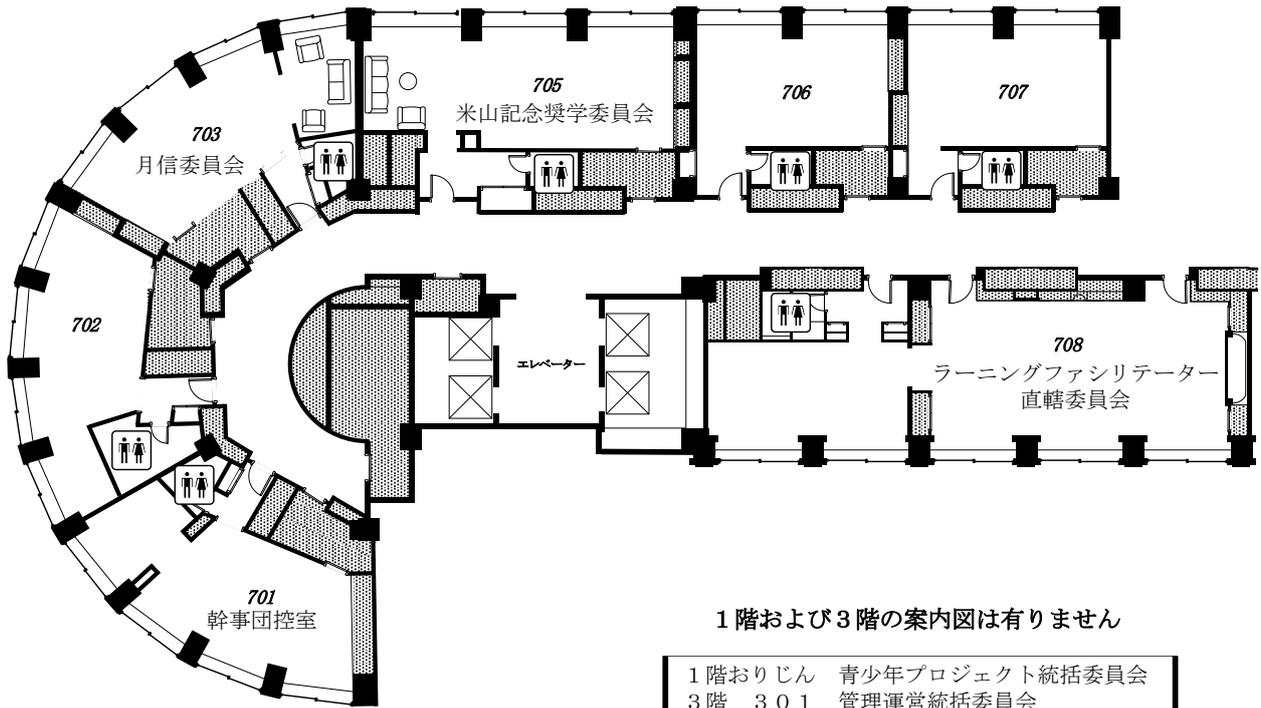
奨学生・学友委員会  
◎ 大塚 裕正 (千葉南)  
渡邊 英子 (野田セントラル)  
久我 守正 (勝浦)  
長井 弘亘 (市川南)

事務局  
主任 本田 修  
局員 大山 尋美  
局員 竹井 志麻子

ロータリー平和センターカウンセラー  
※入23期生 (24-26) カウンセラー 森正 浩造 (松戸)  
※入24期生 (25-27) カウンセラー 野口 雅子 (東金)  
※入24期生 (25-27) カウンセラー 熊澤 紳行 (市川)

## 委員会別会場一覧

会議名	会場
本会議	プリマベータ（２階）
ガバナー補佐会議	ルーナ１，２（２階）
地区ラーニングファシリテーター 理念委員会 ラーニング委員会 R L I 委員会	708（７階）
管理運営統括委員会 会員増強・基盤向上委員会 広報・公共イメージ向上委員会 フェロシップ・親睦活動委員会	301（３階）
奉仕プロジェクト統括委員会 職業奉仕委員会 社会奉仕委員会 国際奉仕委員会	ルーナ３（２階）
青少年プロジェクト統括委員会 インターアクト委員会 青少年交換委員会 R Y L A 委員会 ローターアクト委員会	日本料理 「おりじん」１階
ロータリー財団統括委員会 財団資金管理・寄付推進委員会 補助金プロジェクト委員会 奨学生・学友委員会 ロータリーポリオプラス委員会 ロータリー平和フェロシップ委員会	ライブラリー（２階）
米山記念奨学委員会	705（７階）
月信委員会	703（７階）
諮問委員会（本会議前）	ライブラリー（２階）







【表紙・表3】宮田雅之 刀勢画「八犬伝」



よいことの  
ために  
手を取りあおう

国際ロータリー 第 2790 地区  
時田清次ガバナーエレクト事務所

〒260-0042 千葉市中央区椿森3-1-1-302  
TEL: 043-284-2790 FAX: 043-256-0008  
E-mail: 25-26gov@rid2790.jp